

おし図書館



発行 おし図書館
 代表 青木和子
 松本市牧原1-104-416
 TEL 047-311-0886

山口県萩市

明木からの便り



伊藤(吉原)里絵

萩市明木の図書館について、報告できるようなことが少し出てきたので、紹介します。

私の住む明木には「日本で最初の村立図書館」が前身の図書館があります。(昭和の大合併で明木村は旭村となり、平成の大合併で萩市となりました。)

明木村立図書館は、明治39年、日露戦争戦勝記念事業として創立されました。

昭和3年、地元の名士が建設資金と図書を寄付し、明木小学校校

庭に図書館を新築し、旧館を移築して書庫に改造しました。

昭和24年、明木図書館条例を制定。昭和30年の町村合併によって旭村立明木図書館となり、昭和32年には創立50周年記念事業として鉄筋コンクリート2階建て・延56坪の新図書館を建設し、現在に至っています。

そのような輝かしいとも言える歴史を持つ図書館の現在は、年間2割ほどの住民が一ヶ月一冊ほど借りる、行事もほとんど行われたい停滞した状況でした。

私も夫も図書館に関わる仕事や活動をしていたので、「図書館を核とした地域づくり」に可能性を感じていたのですが、担

当の人のとの接点が見出せず、様子見をしていました。

旧萩市地区の図書館の司書の方とは、夫の前職の関係者を通じて紹介してもらい、図書館に事務局を置く、小学校に読みきかせや人形劇を出前するサークルの会合で、カンボジアへ絵本を贈っている活動を紹介する機会を得ました。

残念ながら、そこからのつながりは、まだ進展はありません。しかし、この時橋渡しをしてくれた司書の江山規子さんが、4月から明木図書館へ異動して来て、この丸二ヶ月でみるみる生きた図書館づくりをしています。

これまで整理されず、ほこりをかぶった本が山積みとなつて倉庫と化していた閲覧室を自然光の入る快適な空間にして、展示スペースや学習・会合のできる広い机の閲覧エリアを作ったり、6畳ほどの一室のたたみを入れ替えて児童

図書室にしたりしました。また、夫の通っている山口県大生の「地域実習」という授業の受け入れを行い、郷土資料の整理を協力して、書庫を「地域情報室」として生まれ変わらせて、近くオープンする予定です。(へちなみに、学生は平日を中心に泊りこみで来て、宿泊は私の住む古民家を使います。)

地域の人が多く関わって、愛着の持てる空間という思いで学生と共に作業してくれるボランティアを募ったり、4月に夫が知人から紹介されて催した「周防猿まわし・猿舞座あさひ公演」の広報展示(関連図書と共に)をこころよく引き受けてくれました。これは、どこよりも早く気持ちの良い対応でした。(猿舞座については、また今度ご紹介します。11月頃、松戸でも公演予定だそうです。)

そして、同封のチラシ(③)頁参照)「こどもの読書週間特別行事

Part 2」は、私が東京都小平市で行っていた「クメール語の絵本を贈る会」のメンバーが明木を訪問するのに合わせて、企画開催してくれました。そこには、県内で奮闘している山陽小野田市の図書館長(公募の嘱託職員)と司書を招いて、講演会の交流で「海外支援ボランティアへの地域の図書館の協力・サポートの可能性」を示しての内容の濃い時間となりました。

そして6月2日、山陽小野田市立中央図書館での常世田さんの講演会(内容は後記)に、江山さんが連れて行ってくださいました。江山さんのおかげで、地元で活動できそうな明かるいきざしが見えてきました。

これを機に、私の説明ではなかなか理解してもらえなかった日本の・地域の図書館の現状や可能性を、夫も理解し始めて、

「おいしい図書館」の活動にも関心を向けて「15年の歩み」にも目を通し始めました。そして、ぜひ明木の私たちの住まいや図書館に来てほしいと言っています。

この二ヶ月で急展開があったので、やっとお便りしました。私も明木での再会を楽しみにしています。

常世田さんの講演会
不安の時代を生きるあなたのために
「自己判断自己責任」型社会の中で暮らす住民のために、
公共図書館が果たす重要性

図書館を賢く利用し、また、利用可能な組織にしなければ、明日の日本は……?

図書館は、正確な情報を公平に提供して住民の自立を援ける「幸せのシステム」である!!

一番怖いのは「情報」なき「自己判断」です。

贈り届ける50冊の絵本展 & 写真展



とき 平成21年5月21日(木)～31日(日)

午前9時30分～午後5時30分

内容 (社)シヤナイ国際ボランティア会の活動「絵本を届ける

運動」でカソボツア・ラオス・ミャンマー・難民キャンプ・

ブックストアに贈っている50冊の絵本の展示

現地の子どもの写真も展示します

クークイヨツク

カソボツクアへ贈る絵本を作るウ

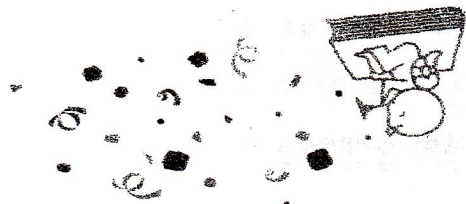
とき 平成21年5月30日(土) 午前10時～11時30分

指導者 伊藤里絵氏(佐々並児童クラブ指導員)

内容 日本の絵本にクメール語の訳文シールを貼付け、カソボツク

へ贈る

対象・定員 どなたでも 10名



講演会

「絵本を届ける運動」15年、カソボツクアへ贈る絵本のかけ橋

とき 平成21年5月30日(土) 午後2時～3時30分

講師 「クメール語の絵本を贈る会」(東京都小平市)

根岸 セツ子氏

内容 「絵本を届ける運動」の活動紹介や、カソボツク・

ラオスの子どもたちの様子についての講演

対象・定員 小学校高学年以上 10名

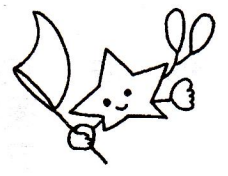
何れの行事も開催場所は萩市立明木図書館・参加費は無料です

「クークイヨツク」講演会は事前に申し込みが必要です

問い合わせ・・・明木図書館 電話 0838-55-0314



「私たちの図書館宣言」は、5月25日に開催された 第3回
 図書館友の会全国連絡会総会に提案され、採択されました。
 全国の会員からの声を集め、起草委員会によってまとめられた、
 利用者の立場からの宣言として、大変意義深いものです。
 以下に、ご紹介します。



わたくし としよかんせんげん
私たちの図書館宣言

としよかん じんるい えいち ほうこ やす こうりゆう ば じょうほうはっしん ば
 図書館は人類の叡智の宝庫です。安らぎと交流の場として、情報発信の場として、
 わたくし じりつ ちいきしゃがい はってん しせつ
 私たちの自立と地域社会の発展になくてはならない施設です。

わたくし としよかん すがた かか
 私たちは、ここに図書館のあるべき姿を掲げます。

- 一 し じゆう まな けんり ほしよ としよかん
 知る自由と学ぶ権利を保障する図書館
- 二 だれ みちか むりよう りよう としよかん
 いつでも、どこでも、誰でも、身近に無料で利用できる図書館
- 三 しりよう じょうほう ほうふ しゅうしゅう せいり ほぞん としよかん
 資料・情報が豊富に収集・整理・保存されている図書館
- 四 ししよしよせいど かくりつ けいけん つ かんちよう しよいん としよかん
 司書職制度が確立され、経験を積んだ館長と職員がいる図書館
- 五 りようしゃ まも としよかん
 利用者のプライバシーを守る図書館
- 六 じょうほうこうかい みんい もと としよかんきょうぎかい きのう としよかん
 情報公開と民意に基づく図書館協議会が機能する図書館
- 七 きょういくいんかい せきにん せっち ちよくせつ かんりうんえい としよかん
 教育委員会の責任で設置し、直接、管理運営される図書館

わたくし じつげん としよかん ささ まも ひと て
 私たちは、この実現のために、図書館を支え、守り、すべての人と手をつなぎ、
 としよかん せいちよう せんげん
 図書館とともに成長することを宣言します。

としよかんとも かいげんこくれんらくかい
図書館友の会全国連絡会